

2023年2月16日

トピー工業株式会社

トピー工業グループの明海発電が  
豊橋市で発生する生ごみ・下水汚泥を活用した発電を開始  
～CO<sub>2</sub>排出量低減とエネルギーの地産地消の推進～

トピー工業株式会社（本社：東京都品川区、社長：高松信彦、以下「トピー工業」）の連結子会社である明海発電株式会社（本社：愛知県豊橋市、社長：井口 憲司、以下「明海発電」）は、豊橋市内の生ごみ・下水汚泥から製造された「バイオマス固形燃料」を利用した発電を開始しました。年間約1,000トンを石炭と混焼して使用する予定です。

バイオマス固形燃料は、生ごみ・下水汚泥を乾燥、炭化させて製造しています。石炭の代替燃料として利用することができ、生じる熱量は石炭の2/3程度となりますが、バイオマス資源から作るためカーボンニュートラルな燃料としてCO<sub>2</sub>排出量の低減に寄与します。明海発電では、豊橋市バイオマス利活用センターが製造するバイオマス固形燃料を活用することで、エネルギーの地産地消にも貢献します。

明海発電では、バイオマス固形燃料の活用により年間のCO<sub>2</sub>排出量を2021年度比0.2%削減する見込みです。



明海発電



バイオマス固形燃料

トピー工業グループは、2050年に向けたサステナビリティ長期ビジョン「TOPY Sustainable Green Vision 2050」を策定し、豊かで持続可能な社会の実現に向けた取り組みを行っています。今後も、トピー工業グループ全体で、より一層のサステナブルな経営基盤の強化やカーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを推進してまいります。

【お問い合わせ先】総務部 広報・IR室 TEL 03-3493-0777